

安全安価な飲料水をインドネシアへ

～北九州市の中小企業がインドネシアにきれいな水を届けます～

国際協力機構(JICA)は 6 月 30 日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社いしかわエンジニアリング(福岡県北九州市、石川重喜代表取締役)が提案する「スラバヤ市における飲料水供給改善事業にかかる案件化調査」(インドネシア)を採択しました。

インドネシア第二の都市であるスラバヤ市は水道整備は進んでいるものの、老朽化等の問題からその水質は飲料水の基準を満たしておらず、住民は飲用としてガロン水やペットボトル水を購入しています。しかし、収入に占める飲料水代が高く、家計を圧迫しており、収入が低い世帯では飲料水の購入が難しいため安全な水を飲むことが出来ない状況にあります。

(株)いしかわエンジニアリングは、北九州市がスラバヤ市で実施した草の根技術協力事業(地域提案型)に参画し、日本で実績のある濾過膜装置を用いて、高品質かつ安価に飲料水を生成する技術システムを実証しました。今回の調査では、この飲料水生成技術を利用した「小規模分散型浄水供給」及び「ガロン水の製造販売」の事業実施可能性を検討します。



水質検査の様子



現地の方々に飲料水を提供



現地の水を飲料化する浄水機

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 1 回分は本年 2 月に公示を行いました。117 件の応募のうち 35 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州国際センター 市民参加協力課 土屋 TEL 093-671-8204

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 長富(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp